



二所一関



九月場所結果

十二月場所新番付

序二段					三段目					幕下			十両					
東96	西56	西33	西8	東3	西85	西67	東65	東57	東46	西32	西10	西29	東23	東16	東15	東14	西12	東3
総勢山	足立	藤宗	谷口	尼王	林龍	西田	佐藤	阿龍	林虎	麒麟龍	和氣の里	花房	嘉陽	宮城	龍王	大の里	高橋	友風
全休	5・2	4・3	4・3	全休	1・6	5・2	3・4	3・4	3・4	3・4	4・3	4・3	6・1	3・4	全休	12・3	8・7	11・4

序口	序二段				三段目					幕下			十両		幕内			
東14	西74	西32	西12	西10	西79	東75	東67	東57	東48	東37	東60	西55	西23	東20	西6	東9	東5	東前頭14
総勢山	尼王	林龍	足立	藤宗	谷口	佐藤	阿龍	林虎	麒麟龍	西田	和氣の里	龍王	花房	宮城	嘉陽	高橋	大の里	友風

新十両2人が勝ち越し！大の里は優勝を逃がすも12勝の活躍

九月場所の目玉であった新十両2人、高橋と大の里。初めての15日間、苦戦が予想されるも両者ともに勝ち越し、堂々の関取デビューとなった。大の里は千秋楽まで優勝を争う12勝の活躍であった。それでも2人にかかる期待はこんなものではない。九月は2人での優勝争いが見られるのではないかと期待大である。

19人中15人が勝ち越しの好成績

二所ノ関部屋創設時の一番弟子、15歳で入門した谷口が3年かけて遂に三段目を掴んだ。しっかりした相撲経験は少なく、最初は立ち合いに当たることが怖くて出来なかったことを思えば大きな成長と言える。



来年には同年代が高校を卒業して入門してくる。ニコニコ笑顔で、部屋ではピカイチの人気があるが、愛嬌だけでは許されない年齢になってくる。このまま番付を駆け上がってほしい。

二所ノ関親方の総評コーナー！

七月名古屋でかなりの好成績だったので、大きく番付を上げて迎えた九月。それでも全体的に良い成績で終わることが出来ました。特に関取3人が頑張ってくれました。友風は攻める相撲で再入幕、この相撲なら幕内でも十分に活躍できます。大の里は負けた内容が良くなく、まだまだです。伸びしろは充分にあるので基礎を徹底してやらせませす。高橋は15日間で疲労もあったでしょう。巡業でもしっかり稽古をしていましたし、慣れてくる十一月は楽しみです。嘉陽が次の関取候補に名乗りを上げました。まだまだ目指す相撲内容はこんなもんじゃありません。十両に上がることを目標にせず、上がってからも戦える相撲を目指してほしいです。そうすればあっさり関取に上げられるでしょう。最高位で勝ち越した花房も楽しみです、もっと相手も自分のことも研究が必要です。九州ではまた素晴らしい宿舎が待っています。一年納めの場所を最高の環境で臨めますので、良い成績で新年を迎えたいと思います。

友風・遂に再入幕を決める11勝！

名古屋に引き続き友風が好調、11勝を挙げた。これで怪我をした令和元年十一月以来、丸5年振りの再入幕が確定した。叩き込みが冴えた名古屋からは一変、前に攻める相撲で相手を土俵の外へ押し出し相撲が目立った。再起不能と言われた大怪我から復活、奇跡と言える幕内返り咲きである。怪我をする前以上の活躍で、またファンの方々に感動を与えてくれることであろう。



嘉陽が6勝し準優勝。いよいよ幕下上位へ

嘉陽が6勝の大勝ち、千秋楽の7人による優勝決定戦に進出した。順調に勝ち進むも決勝で敗れ惜しくも準優勝。九月はいよいよ幕下一桁まで番付を上げ、関取昇進が視野に入る。名古屋では全勝対決の勝負所で立ち合い変化に失敗。大いに悔やんで迎えた九月は正攻法で押しに徹する相撲が多かった。この相撲を磨けば、新年は関取として迎えてくれることになると思われる。



中村親方の注目力士コーナー！

九州場所の注目力士は九月場所で6勝をあげ自己最高位を更新、幕下上位に番付を上げた嘉陽です。はたきやいなし、土俵際の動きの良さに加え最近には懐に入って前に出る相撲も増えてきました。同期の高橋、後輩の大の里に先を越され悔しい思いをしています。次は自分が、そして追いついて追い越す。という気持ちになっています。九州場所では嘉陽らしい相撲で勝ち越しを目指して頑張ってもらいたいです。応援よろしくをお願いします。

隔月で二所ノ関部屋の最新情報をお知らせしています